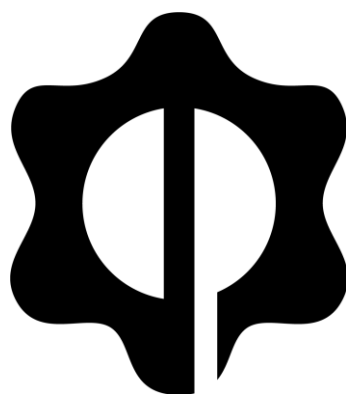


第4次中野市行政改革集中改革プラン (令和3年度～令和7年度)



令和5年度実績報告
令和6年度目標設定
(令和6年5月)

はじめに

集中改革プランは、令和3年8月に策定した「第4次中野市行政改革大綱」に基づき、中野市の将来を見据え、優先的に取り組むべき事項を明確化したものです。

「持続可能な行財政運営の推進」を基本方針に、「DX※1の推進」「組織の最適化」「財政運営の強化」を実現すべく、具体的な取組を定めました。

確実に実行していくためPDCAサイクル※2に基づき、毎年度の実績と検証を繰り返し、目標実現に向け推進していきます。

	n年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(プラン)	④	n年度の実行					③	①	n+1年度の目標、 取組内容の設定			
※ n...当該年度				③	①				◆ n年度の点検 ・中間報告、評価 ・目標、取組内容の修正等			
				◆ n-1年度の実績、評価、改善の検証								

※1 DX(Digital Transformation)

- ・将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用し新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改善すること
- ・行政にとってのDXとは、デジタル技術を活用して行政サービスを変革すること

第4次行政改革大綱の基本方針と重点項目

【基本方針】

持続可能な行財政運営の推進

財政面の効果を求めるだけでなく、人口減少や急速に進む高齢化、多様化する市民ニーズや新たな技術に対応した行政運営に取り組むため、デジタル技術やAI※3等の活用により市民の利便性を向上させるとともに業務の効率化を図り、組織の最適化や行財政運営の強化と併せた基本方針のもと行政改革を進めます。



【重点項目】

・DXの推進

ICT※4技術の活用による事務の効率化

・組織の最適化

・人口減少へ対応できる組織体制及び人づくり

・財政運営の強化

可能な限り次世代に負担を残さない効率的・効果的な財政、施設等の見直し

第4次行政改革大綱では、基本方針を踏まえながら行政改革を推進していくため、3つの重点項目を定めることとします。またそれぞれの重点項目における具体的な取組も併せて定めます。



【具体的な取組事項】

集中改革プラン

このプランに掲げる5項目以外の項目であっても、行政改革を推進するうえで取り組む必要があると判断した場合は、積極的に取り組むこととします。

※3 AI(Artificial Intelligence)

・人工知能のことを指し、学習・推論・判断といった人間の知能をもつ機能を備えたコンピューターシステム

※4 ICT(Information and Communication Technology)

・情報・通信に関連する技術一般の総称

【基本方針】 持続可能な行財政運営の推進

【重点項目】

【具体的な取組事項】

【プラン項目】

A
D
X
の
推
進

1 RPA※5 等新技術導入の推進

【1-1】 R P A等新技術の導入による窓口業務や各種手続きにおける事務の効化及び利便性の向上に努めます。

【1-2】 デジタル技術を利用した新しい市民参加の仕組みを検討します。

1 RPA等の導入

2 テレワーク等のシステム導入

3 市民意見提出方法の拡大

2 申請手続きの簡素化

【2-1】 申請手続きの簡素化を推進するためマイナンバーカードの保有率 100%を目指します。

【2-2】 申請書類等押印廃止による行政手続きのオンライン化を促進します。

4 マイナンバーカードの取得促進

5 電子申請サービスの導入

3 業務の効率化による組織のスリム化と職員の適正配置

【3-1】 業務の効率化による組織体制（職員数・人員配置）の見直しを推進します。

6 各種業務におけるアウトソーシング※6

A DXの推進（9プラン）

【ICT技術の活用による事務の効率化】

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1 RPA等新技術導入の推進（7プラン） | ページ |
| 1 RPA等の導入・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6～9 |
| 2 テレワーク※8等のシステム導入・・・・・・・・ | 10～11 |
| 3 市民意見提出方法の拡大・・・・・・・・ | 12 |
| 2 申請手続きの簡素化（2プラン） | |
| 4 マイナンバーカードの取得促進・・・・・・・・ | 13 |
| 5 電子申請サービスの導入・・・・・・・・ | 14 |

B 組織の最適化（4プラン）

【人口減少へ対応できる組織体制及び人づくり】

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 3 業務の効率化による組織のスリム化と職員の適正配置（4プラン） | |
| 6 各種業務におけるアウトソーシング・・・・・・・・ | 15～16 |
| 7 団体事務の見直し・・・・・・・・ | 17～20 |
| 8 組織の適正配置・・・・・・・・ | 21 |

C 財政運営の強化（4プラン）

【可能な限り次世代に負担を残さない効率的・効果的な財政、施設等の見直し】

- | | |
|-------------------------|-------|
| 4 財政基盤の強化確立（3プラン） | |
| 9 納付方法の拡充・・・・・・・・ | 22 |
| 10 ふるさと納税額の拡充・・・・・・・・ | 23 |
| 11 ネーミングライツやGCFの検討及び実施 | 24 |
| 5 公共施設の最適化（1プラン） | |
| 12 中野市個別施設計画の実行・・・・・・・・ | 25～27 |

※5 RPA

計画期間

本プランの計画期間は、令和３年度から令和７年度までの５年間の取り組みとします。

A DXの推進【ICT技術の活用による事務の効率化】

1 RPA等新技術導入の推進

【1-1】	RPA等新技術の導入による窓口業務や各種手続きにおける事務の効率化及び利便性の向上に努めます。									
プラン項目	RPA等の導入 (窓口対応翻訳システム)	プランNo.	1-②	主幹課	企画財政課					
期待される効果	外国人及び聴覚障がいのある方への行政サービス及び職員の業務効率が向上する。									
具体的な 取組内容	・ 窓口対応翻訳システムの導入を行う。 ・ 多様性への適応を高めるため、複数の外国語、手話通訳に対応した、言語映像通訳サービスを導入する。									
年度別計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	参考：令和2 (2020)年度実績	—			
	内容検討 試験運用	運用開始	⇒	⇒	⇒					

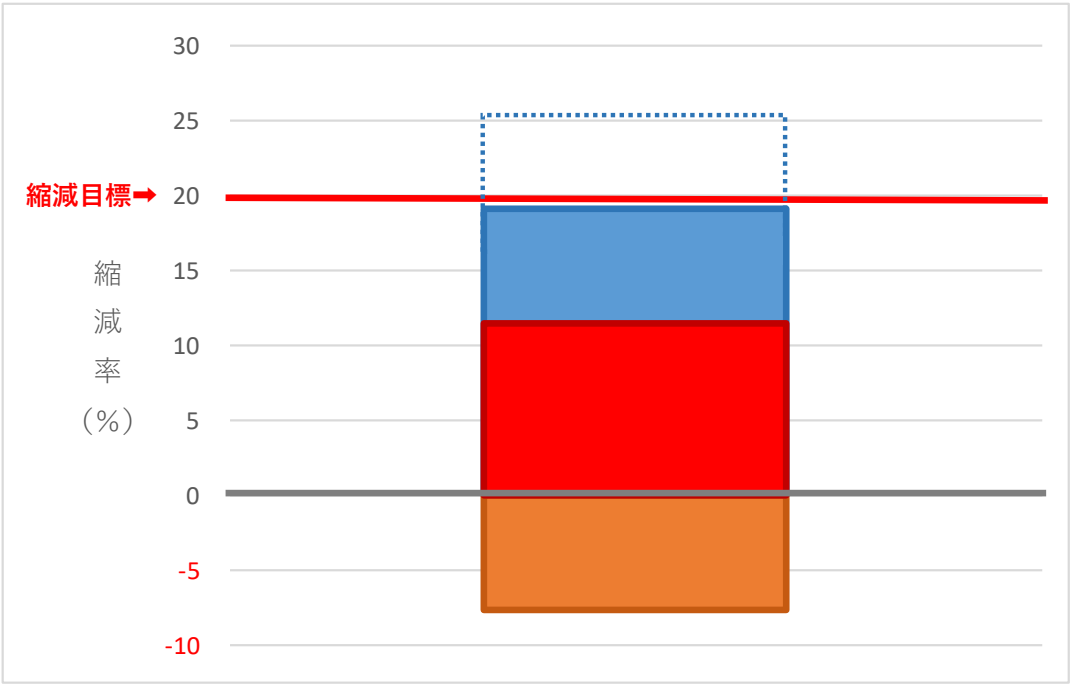
【進捗管理シート】

該当年度	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
取組計画 (P)	・ 新型コロナワクチン接種の開始を踏まえ、即時導入可能かつ初期導入費用が低廉な窓口対応翻訳システムの情報収集、試験導入を図る。 ・ 試験導入を通じ課題の整理を行い、本格運用に向けたスケジュールを策定する。									

【令和5年度縮減状況】

	計画縮減率	25.43%
	累計縮減率	19.24%
	増加率	7.66%
	実縮減率	11.58%

本計画上の縮減面積 54,538.21㎡
 (25.43%) に対し、これまで実際に
 縮減した面積 41,278.56㎡ (19.24%)
 及び増加した面積 16,519.81㎡
 (7.66%) を差し引いた面積が
 24,758.75㎡ となり、縮減率として
 11.58% となる。



- これまでに縮減した施設
 旧豊井小学校、旧科野小学校、旧浜津ヶ池公園市民センター、旧豊田社会就労センター豊井分場 など
- 増加した施設
 豊田小学校（中学校）、中野市関係人口創出拠点施設、防災備蓄倉庫（各小中学校）、し尿等投入施設 など



第4次中野市行政改革集中改革プラン

令和5年度実績報告

令和6年度目標設定
